

決算説明会

2006年3月期中間期

2005年11月1日

ミネベア株式会社

1. 業績の説明

2. 方針と戦略

業績の説明

取締役 常務執行役員 加藤木 洋治

連結業績ハイライト

(百万円)	2005年3月期	2006年3月期	前年同期比 伸び率	2006年3月期 中間期	
	中間期	中間期		期初計画	達成率
売上高	146,751	155,739	+6.1%	142,000	109.7%
営業利益	5,468	7,224	+32.1%	7,500	96.3%
経常利益	3,885	5,322	+37.0%	5,500	96.8%
税引前利益	3,391	4,425	+30.5%	4,500	98.3%
純利益	1,095	2,421	2.2倍	3,000	80.7%

売上高は計画を上回って増加。
利益は計画を若干下回ったが前年より大幅に改善。

為替の影響 05/3期中間期 06/3期中間期
 US\$ 109.43 円 109.39 円
 タバ-ツ 2.69 円 2.69 円
 売上高 +9 億円、営業利益 +1 億円

四半期業績

(百万円)	2005年3月期	2006年3月期		前年同期比 伸び率
	2Q	1Q	2Q	
売上高	75,427	75,690	80,049	+6.1%
営業利益	2,666	3,010	4,214	+58.1%
経常利益	1,903	2,163	3,159	+66.0%
税引前利益	1,454	830	3,595	2.5倍
純利益	887	980	1,441	+62.5%

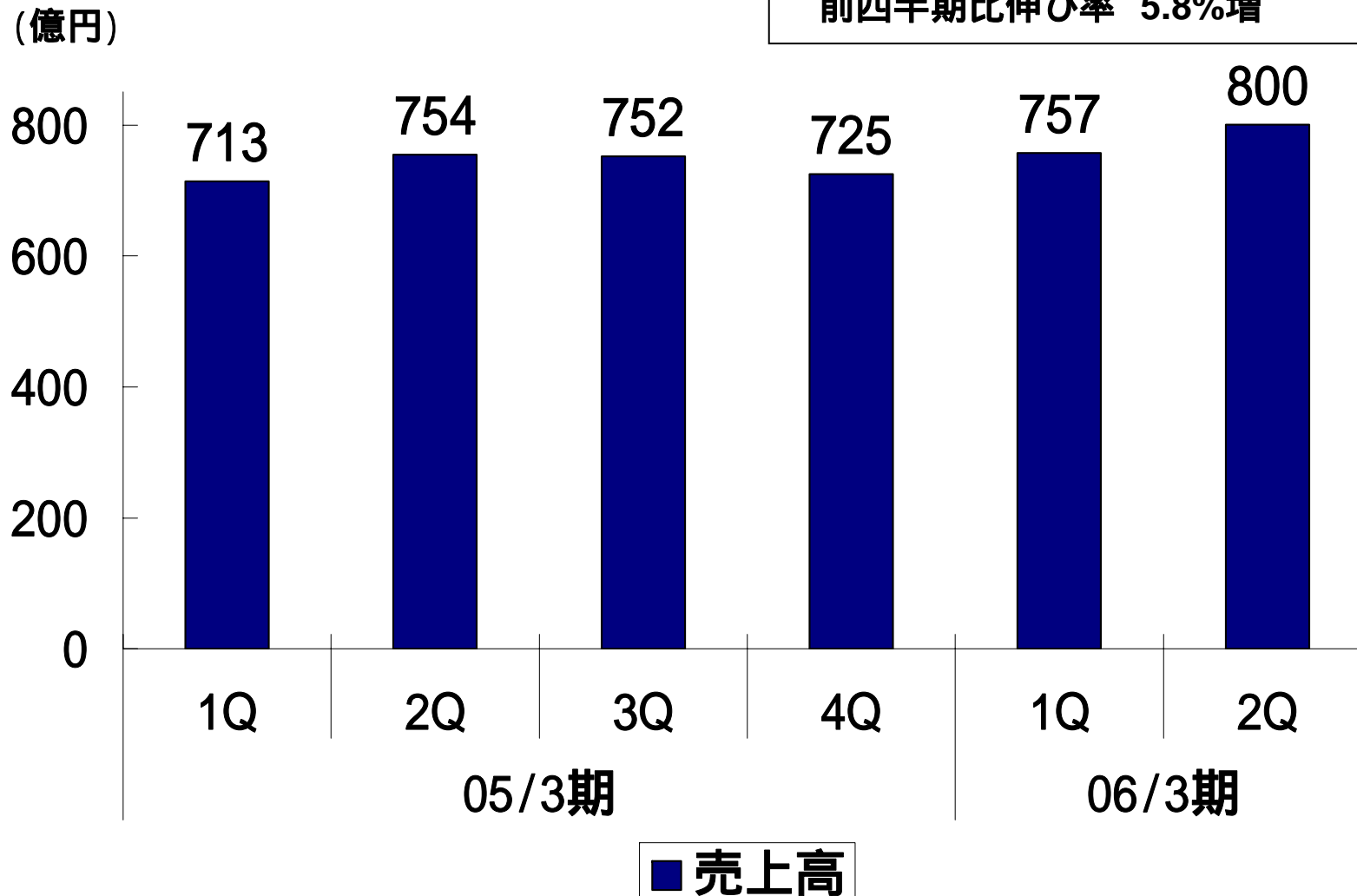
2Qの売上高は1Qに引き続いて好調。
利益は1Qから大幅に改善した。

セグメント別収益

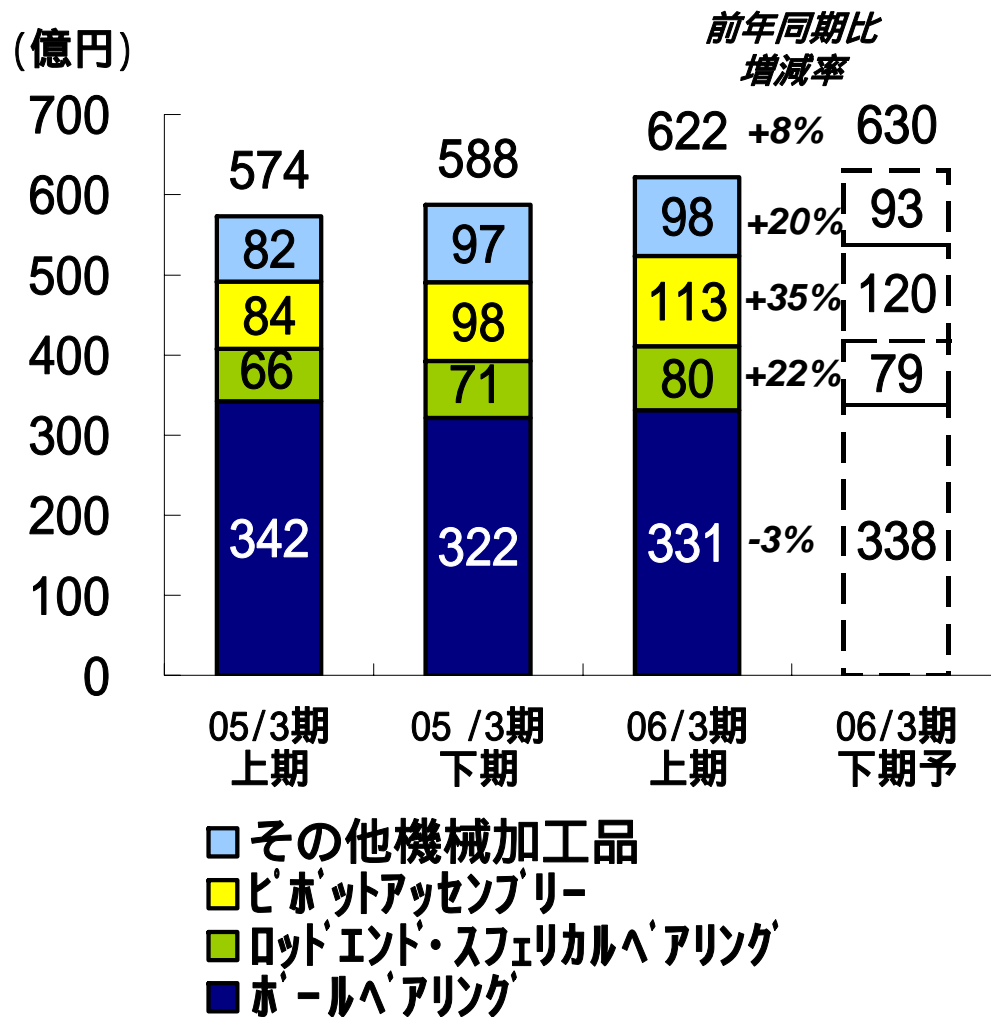
(百万円)	2005/3期	2006/3期			前年比 伸び率	上期	実績 対計画
	上期	1Q実績	2Q実績	上期実績		5月発表計画	
〔売上高〕							
機械加工品	57,350	30,573	31,631	62,204	+8.5%	58,500	106.3%
ベアリング関連製品	49,153	25,982	26,402	52,384	+6.6%	49,800	105.2%
その他機械加工品	8,197	4,591	5,229	9,820	+19.8%	8,700	112.9%
電子機器							
回転機器	89,400	45,116	48,419	93,535	+4.6%	83,500	112.0%
その他電子機器	54,061	26,443	27,880	54,323	+0.5%	49,600	109.5%
その他電子機器	35,340	18,673	20,539	39,212	+11.0%	33,900	115.7%
合計	146,751	75,690	80,049	155,739	+6.1%	142,000	109.7%
〔営業利益〕							
機械加工品	10,478	5,067	6,045	11,112	+6.1%	11,250	98.8%
電子機器	5,010	2,056	1,831	3,887	-	3,750	-
合計	5,468	3,010	4,214	7,224	+32.1%	7,500	96.3%

売上高

ほぼ全ての主要製品が1Qよりさらに増加
前年比伸び率 6.1%増
前四半期比伸び率 5.8%増



機械加工品セグメント 売上高

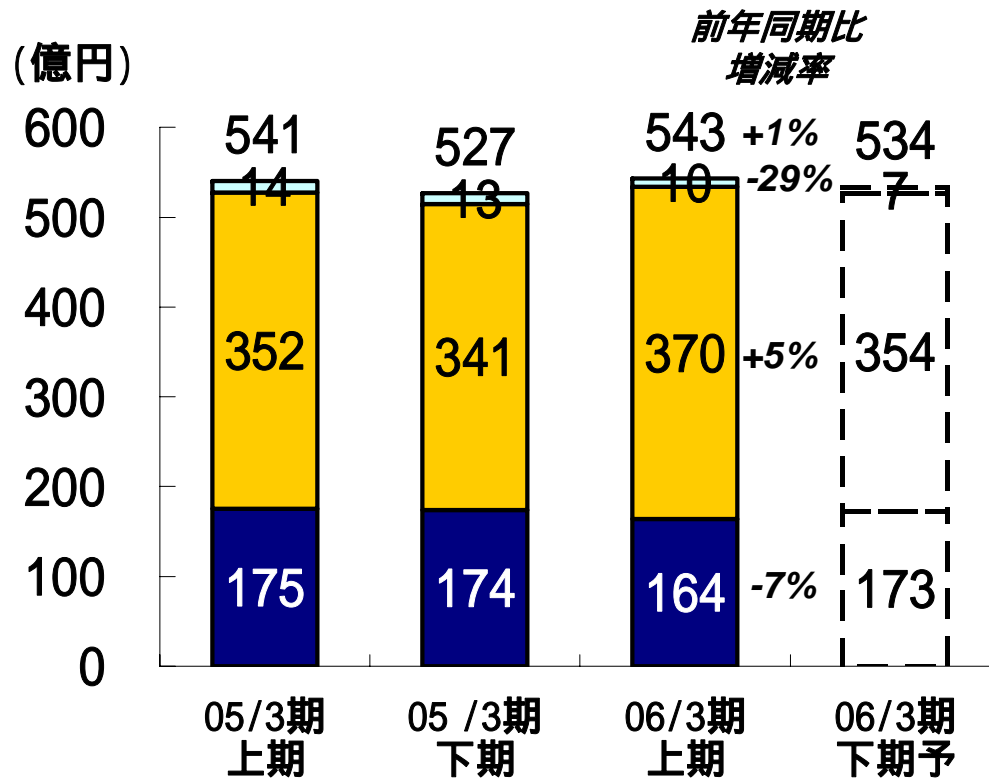


実績

ピボットアッセンブリーが昨年より大きく増加。3.5インチ及び2.5インチ用が伸び、2Qの売上は1Qよりさらに拡大。

ロッドエンドも航空機向けに引き続き好調。

電子機器セグメント回転機器 売上高



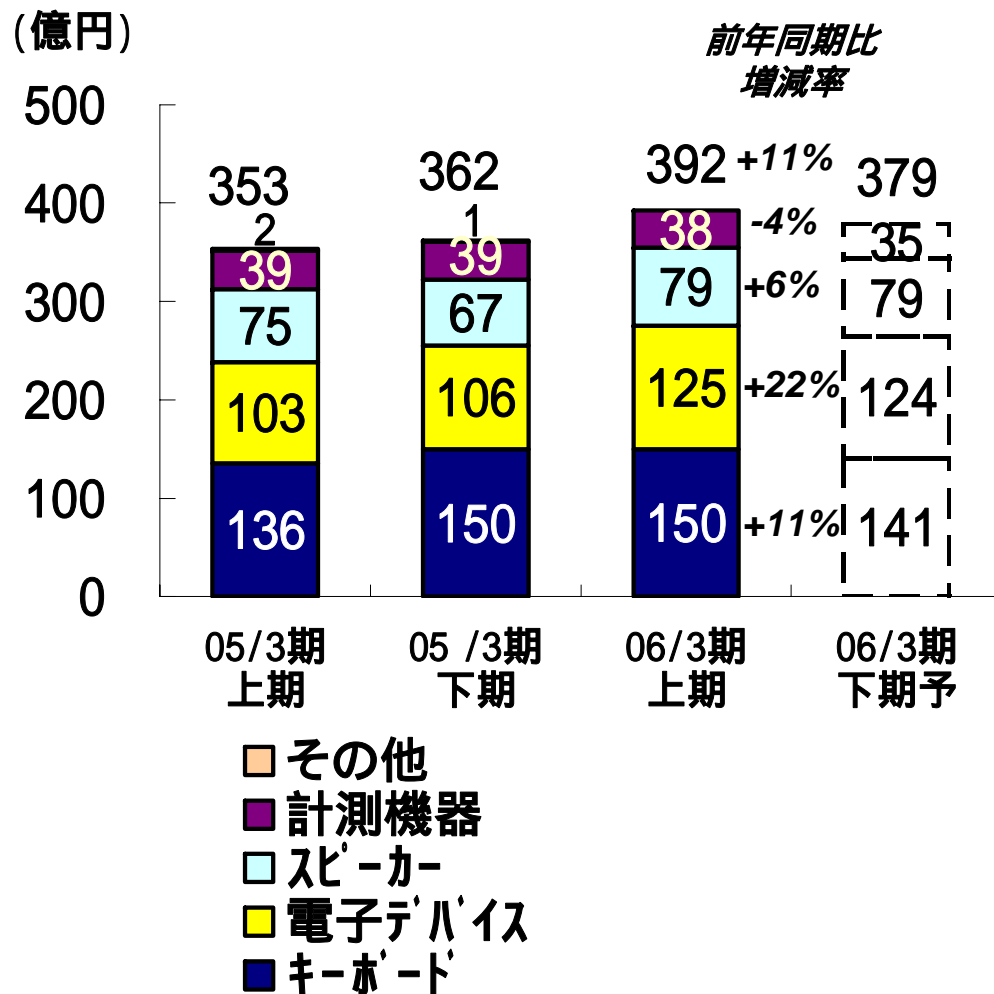
- その他
- 情報モーター(ミネベア・松下モーター)
- HDDスピンドルモーター

実績

ミネベア・松下モーターのファンモーターの売上高が昨年比増加。2Qは、1Qよりステップモーターと振動モーターの売上高が増加。

HDDスピンドルモーターは、販売を一定水準に維持する方針のため増えていない。

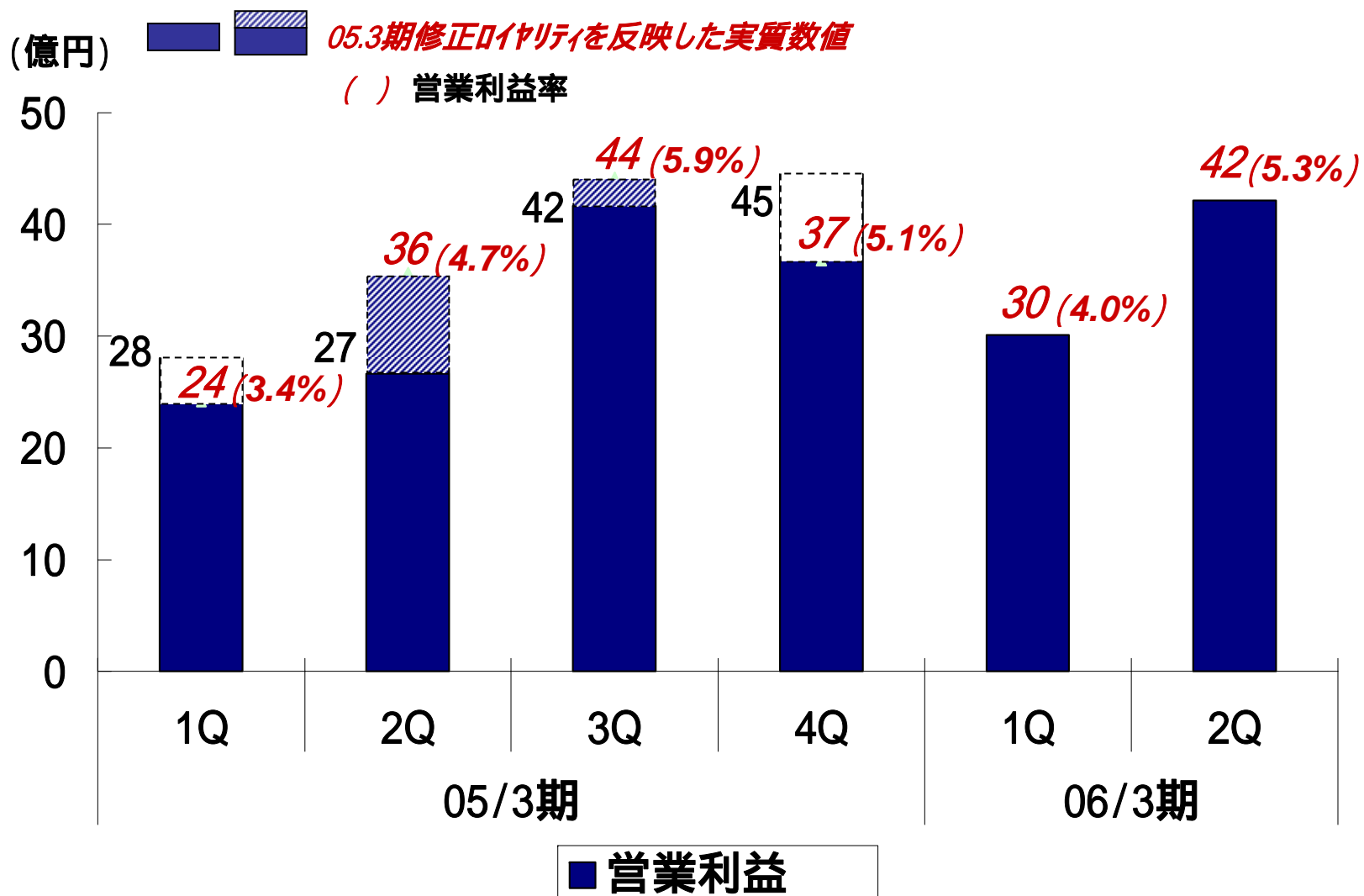
電子機器セグメントその他電子機器 売上高



実績

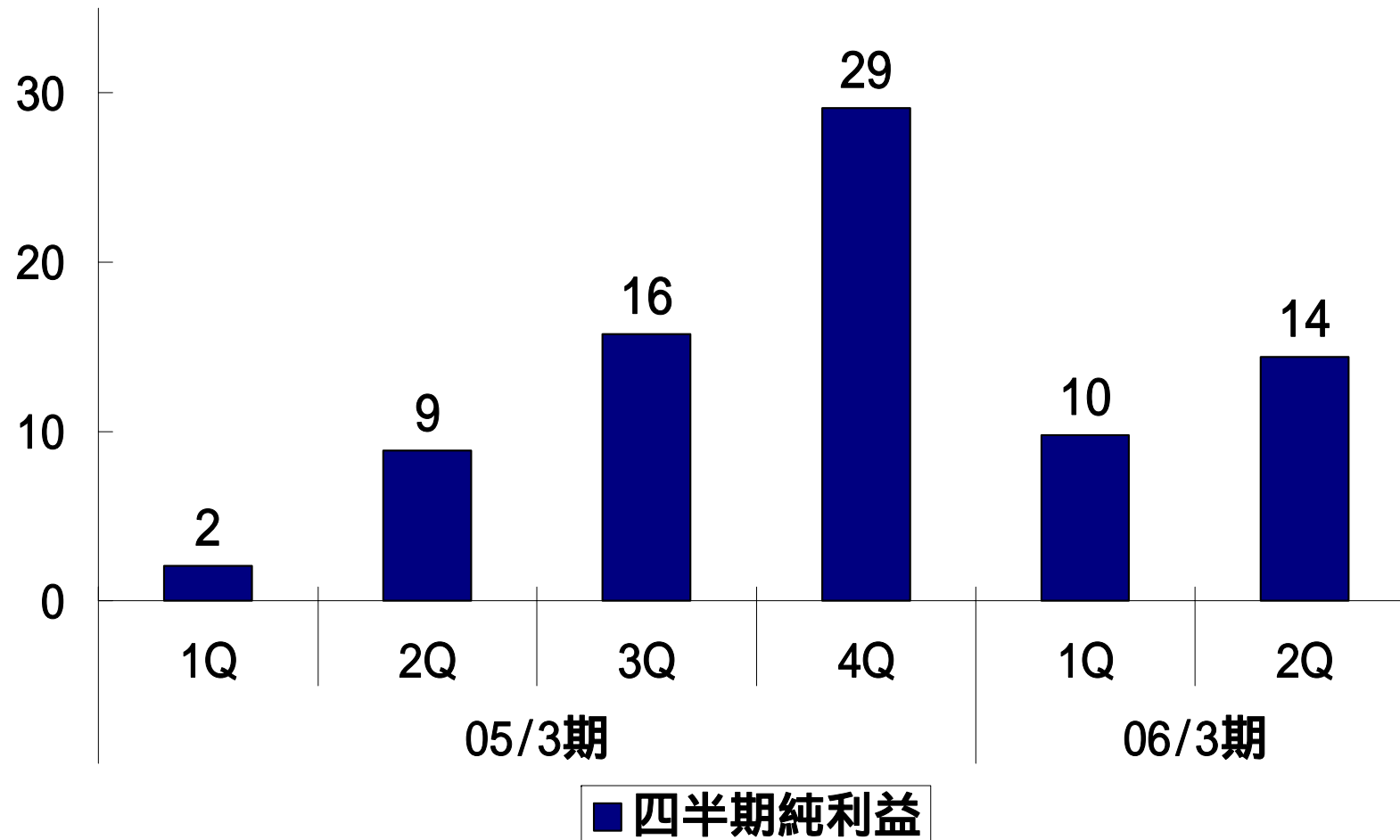
電子デバイスのうち、バックライトが増加。携帯電話用の受注が増加。

営業利益



当期純利益

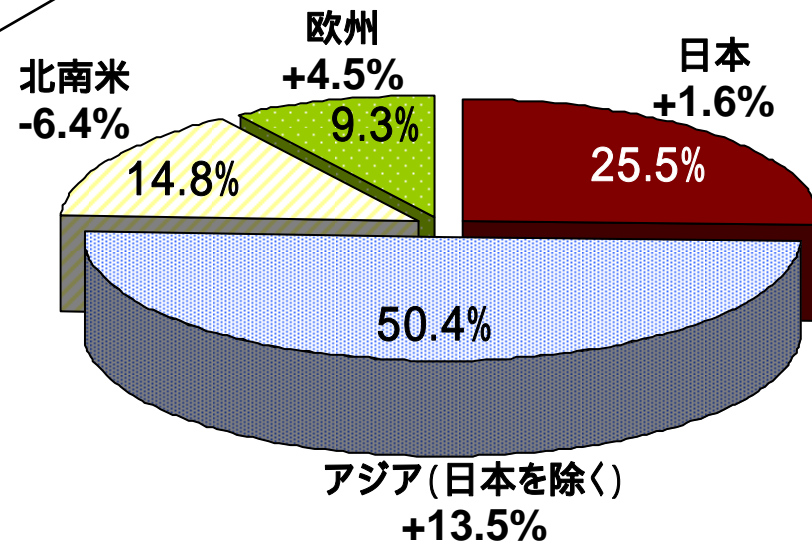
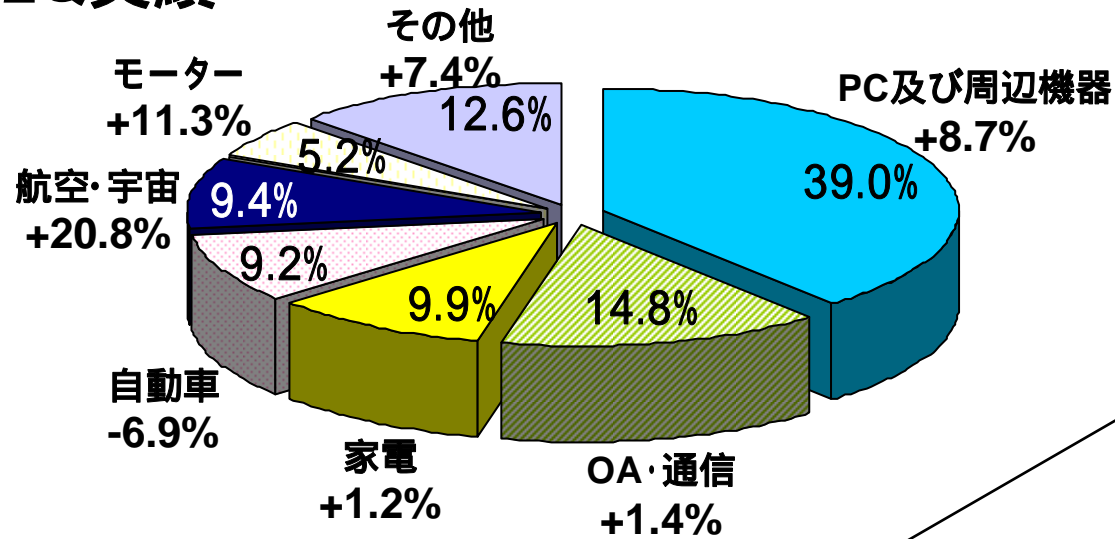
(億円)



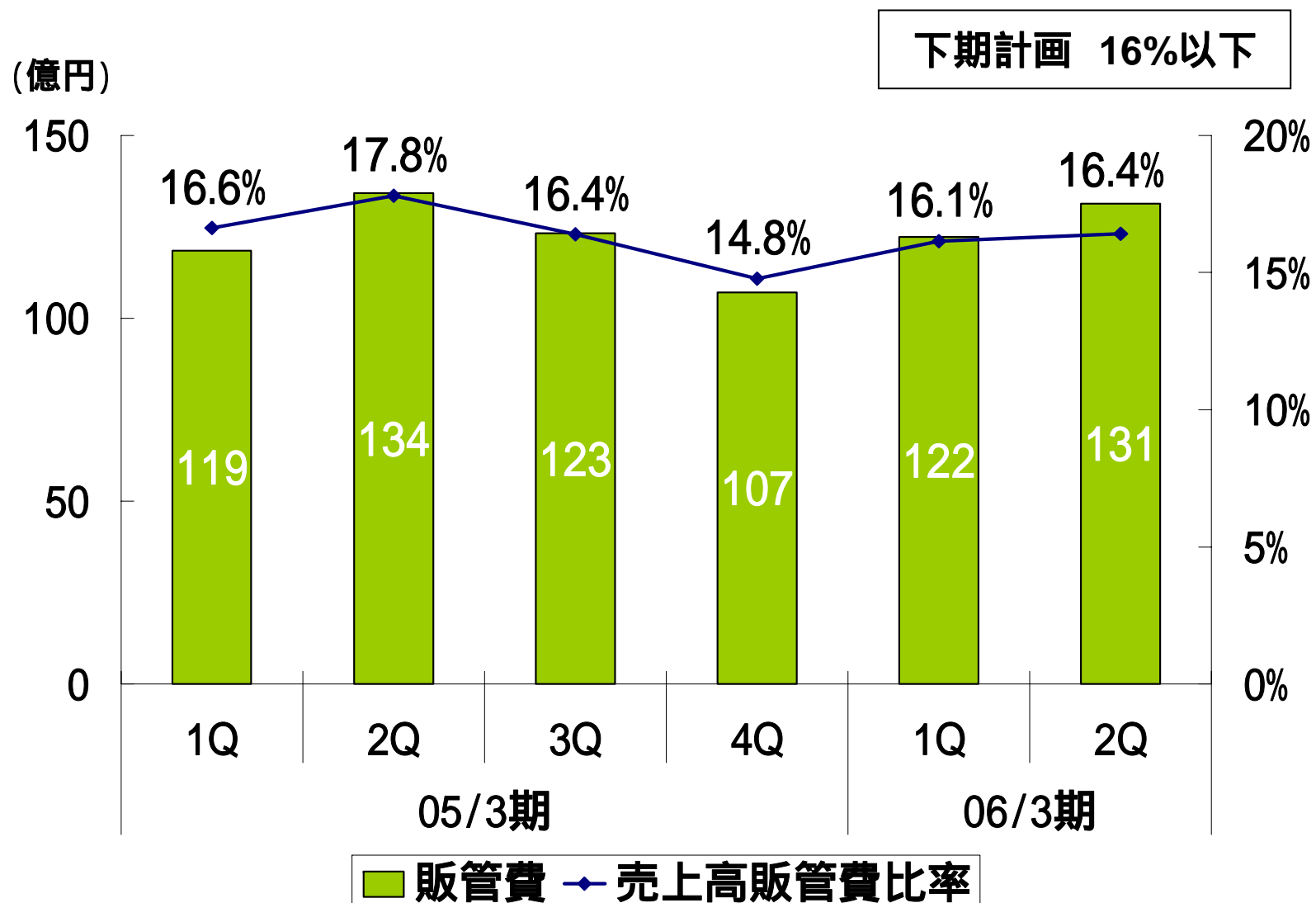
用途別・地域別売上高

2Q実績

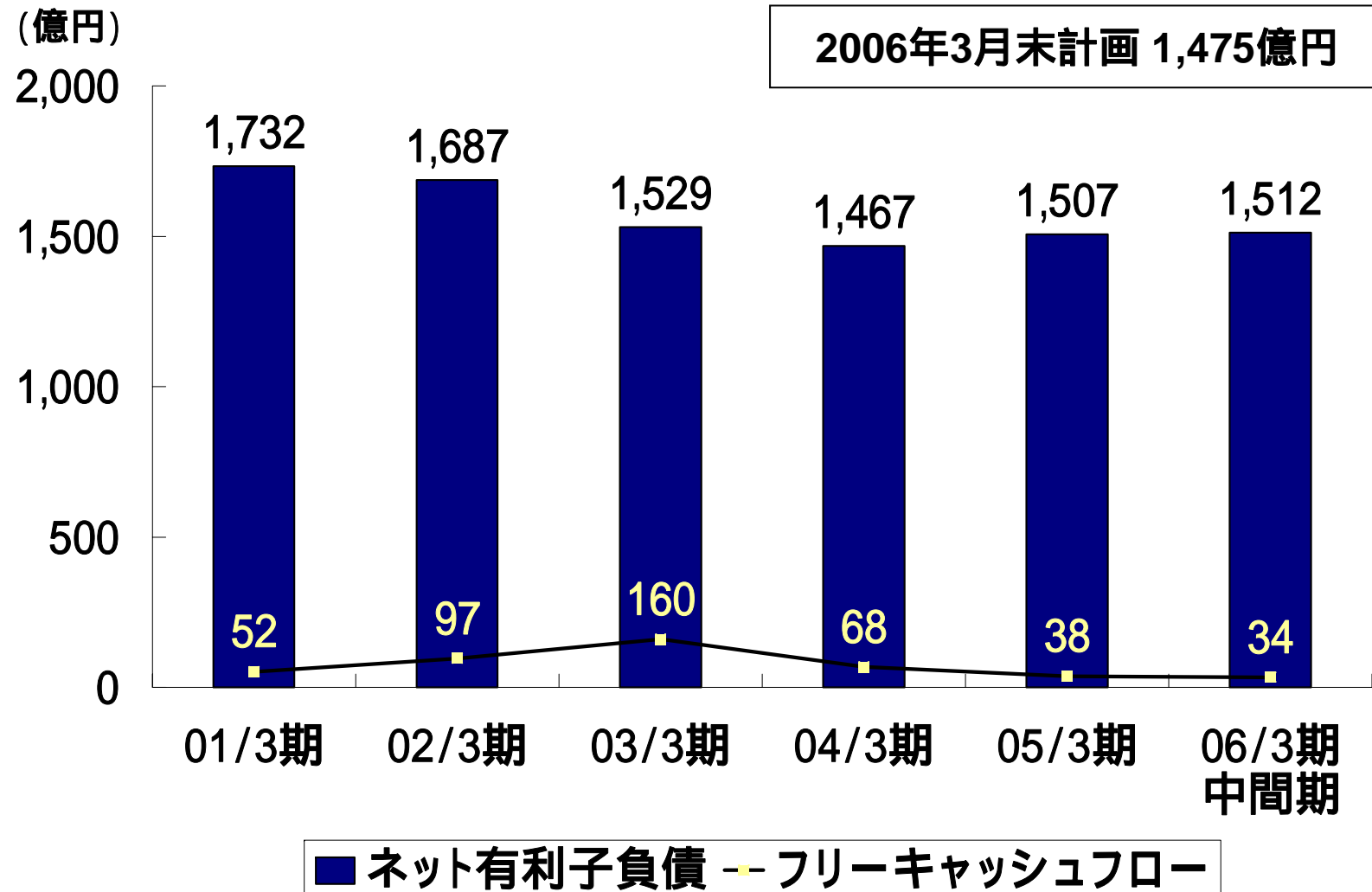
円内の数字は売上高比率
円外は前年同期比伸び率



販管費

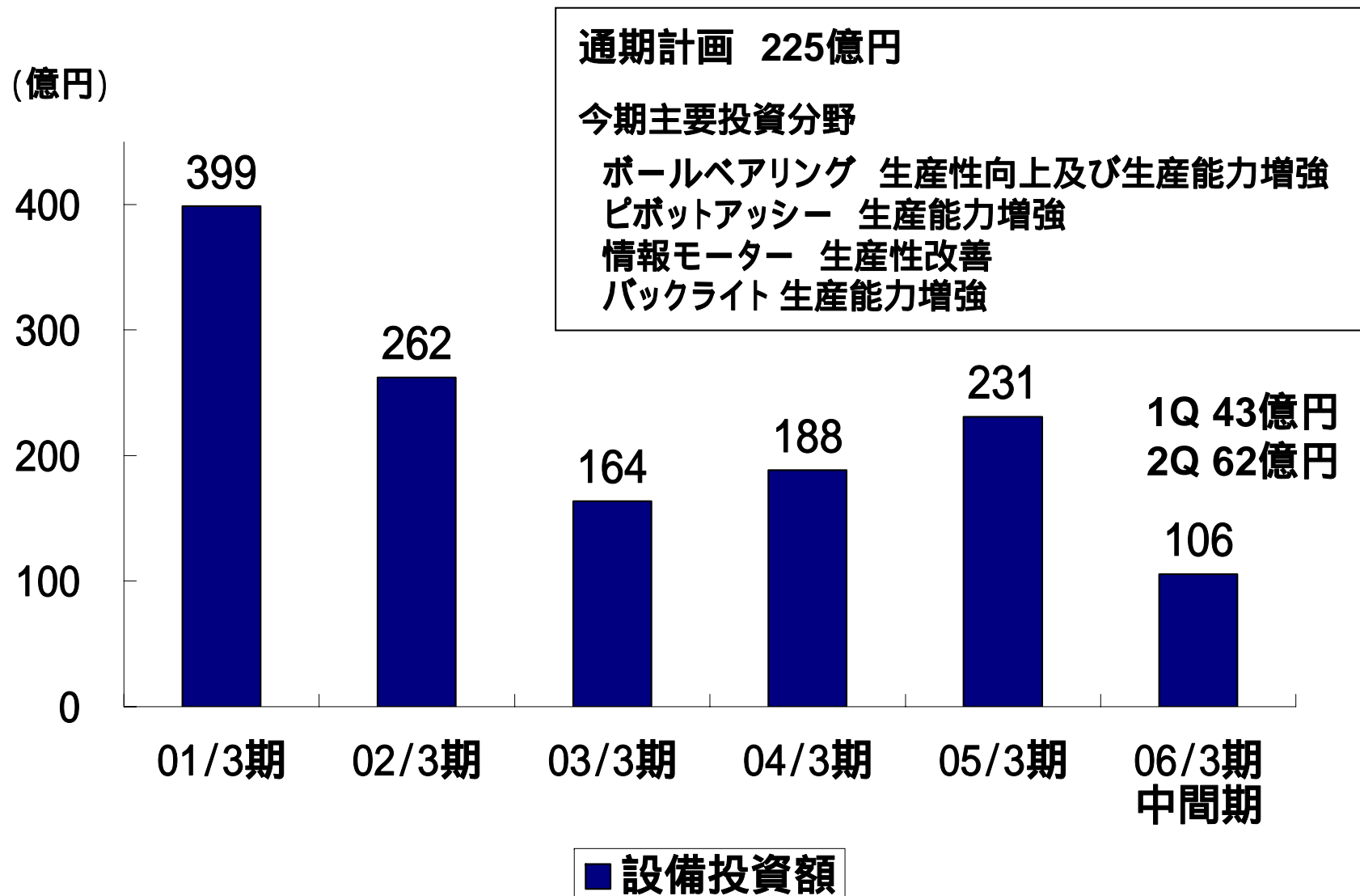


有利子負債



ネット有利子負債 : 有利子負債合計 - 現預金
 フリーキャッシュフロー : 営業活動CF - 投資活動CF

設備投資額



通期業績予想

(百万円)	2005年3月期	2006年3月期修正予想			前年比	通期
	通期	上期実績	下期予想	通期予想	伸び率	従来予想
売上高	294,422	155,739	154,261	310,000	+5.3%	295,000
営業利益	14,083	7,224	10,776	18,000	+27.8%	18,000
経常利益	10,206	5,322	8,678	14,000	+37.2%	14,000
税引前利益	7,778	4,425	8,075	12,500	+60.7%	12,500
(当期)純利益	5,581	2,421	5,079	7,500	+34.4%	7,500

通期セグメント別予想

(百万円)	2005/3期	2006/3期			前年比 伸び率	通期 従来予想
	通期	上期実績	下期予想	通期予想		
(売上高)						
機械加工品	116,105	62,204	62,996	125,200	+7.8%	119,900
ベアリング関連製品	98,218	52,384	53,716	106,100	+8.0%	101,600
その他機械加工品	17,887	9,820	9,280	19,100	+6.8%	18,300
電子機器						
電子機器	178,317	93,535	91,265	184,800	+3.6%	175,100
回転機器	106,750	54,323	53,377	107,700	+0.9%	105,400
その他電子機器	71,566	39,212	37,888	77,100	+7.7%	69,700
合計	294,422	155,739	154,261	310,000	+5.3%	295,000
(営業利益)						
機械加工品	21,572	11,112	12,138	23,250	+7.8%	22,750
電子機器	7,489	3,887	1,363	5,250	-	4,750
合計	14,083	7,224	10,776	18,000	+27.8%	18,000

方針と戦略

代表取締役 社長執行役員 山岸 孝行

2Qの実績

収益の改善（短期的成果）

◆ ピボットアッシー

- 2Qは過去最高の売上高を更新、前年同期比30%増
- 採算性を大幅に改善
 - 製造原価の低減 … 組立の歩留まり向上と部品の原価低減
 - 生産能力の向上 … 尚、来期月3,000万台への体制作り
 - 販売単価の是正

◆ HDDスピンドルモーター

- 生産販売数量を一定水準に維持し、原価低減に集中した
 - 部品歩留まりの向上及び外注部品の内製化
 - 組立工程での人員削減 … 作業改善と品質向上
 - … 工程の短縮

2Qの実績

収益の拡大（成長事業）

◆ ロッドエンド、航空機用ベアリング

- 旺盛な航空機需要に対応して、生産能力を拡大
 - 軽井沢、米国、英国の3拠点で需要地生産
- 低コスト体制の構築と製品範囲の拡大
 - タイで前工程生産を本格稼働
- 高付加価値分野も新規取り込み

◆ ラइटニングデバイス

- 技術開発力の強化により技術面での優位性を確立
 - 新型高輝度・超薄型バックライトが好評、4月 市場紹介開始、10月 販売開始
- 事業規模の拡大と体制の強化
 - タイ工場内に設計部隊を設置して納期を大幅に短縮
 - 効率を追求した在庫ゼロ物流体制を構築

課題三事業の収益改善に向けて(下期)

◆ HDDスピンドルモーター

- 2Q中に改善施策の明確な成果を確認
- 2.5インチをさらに増やし製品構成比率を変える
- 製品開発の効率化・・・ドイツへの集約

◆ ミネベア・松下モータ合併事業

- 9月に構造改革を終了・・・効果を確認中
- 金型及び構成部品のコストダウンの追求
- 新製品投入への開発陣容の強化

◆ キーボード

- 9月にタイから上海へノート用の生産移管をほぼ終了・・・効果を確認中
- 移管モデル(ノート)生産のための作業者の習熟度引き上げ
- 高材料費比率モデルの価格引き上げの活動を実施中

ボールベアリング事業拡大強化策

- 社内使用分が伸び、2Qの販売数量は前年同期比7%増。下期は外販も増え10%増を見込む。
- ピボットアッシーやファンモーターの需要増加に伴い増産を実施中。
- 原価低減をさらに追求。
- アプリケーションで要求される特性の多様化に対応し、製品開発力を強化。

ミネベア株式会社

決算説明会

<http://www.minebea.co.jp/>

上記説明会で述べられた内容のうち歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断にもとづいております。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済情勢、需要動向等の変化、(2)為替レート、金利等の変動、(3)エレクトロニクスビジネス分野で顕著な急速な技術革新と継続的な新製品の導入の中で、タイムリーに設計・開発、製造・販売を続けていく能力、などです。但し、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

本資料に掲載のあらゆる情報はミネベア株式会社に帰属しております。手段・方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに複製・変更・転載・転送等を行わないようお願いいたします。